

おれんち流家庭教育

小須戸公民館報

発行 小須戸町中央公民館
〒956-0101
新潟県中蒲原郡小須戸町
大字小須戸117番地
TEL (0250) 38-2234
FAX (0250) 38-3041
編集 公民館報編集委員会

～家族のふれあい 明るい家庭～



紙飛行機づくりに挑戦 (親子チャレンジ教室一同整列)

「家庭教育は、すべての教育の出発点である」と言われています。

今、家庭そのものも複雑多様化した社会環境の中で、そんな原点さえも忘れていく部分があるのかもしれない。

昨今の青少年の問題行動の背景には家族の心が結びあえない寂しい現実があるのではないのでしょうか。

今回は、家庭教育の実践例として三人の皆さんに投稿をお願いしました。ちよつとも皆さんのご家庭を考慮して頂ければ幸いです。

又、公民館の新事業として「明るい家庭づくり懇談会」

を開催し、少しでも明るい輪が広がっていくことを願っています。

「おはよう」から「おやすみなさい」まで

小見 翼子さん(本町二)

我が家は、明治生まれの祖母から三歳の平成っ子まで、六人家族です。常に「三、四世代同居」で、生まれ育ったものばかり。それは、それは賑やかな毎日です。

これといった嫉は別にないのですが、とにかく日常の挨拶と返事はやかましく言われています。

朝一番に「おはよう」からはじまり、家族同士の会話。また商いをしておりますので、店のお客様との出会いなど、その折々に「こんにちは」「めん下さい」「いらっしやいませ」「ありがとうございませ」等々、いろいろです。

また、呼ばれたり、何か聞かれた時の返事は大きな声で、分かりやすく普通に言われています。

毎日の家族との会話や、生活のなかでその都度、人としての躰や行動をお互いに見せ合って暮らしています。

親子プラス五

匿名 三十代 (女性)

上は十才から下は一才までの五人の子どもの子育てと一言うと「わあ、すごい!!たいへんだらう?」とよく言われる。実際大変なのかも知れない。

ちよつと一言 (167)

子どもとのふれあい

わが家には、五歳の娘と三歳の息子がいます。子どもは色々な事を私に教えてくれます。

娘はお話が大好きで、想像力がとても豊かです。「そんな考え方もあるのか」と、日々驚かされます。また、最近はお態度や口調が私によく似てきています。子どもは親の事をとてもよく観察し

新町三

小野里 美枝子さん



ていて、改めて自分の言葉使いなど考えさせられます。息子という時は、不思議と自分まで素直な気持ちになれます。

「一緒に...しよう」とあつ何年こうやって「一緒に」と言ってくれるのだろうか...

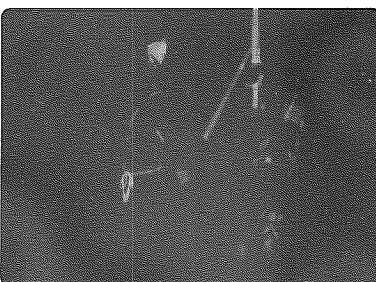
成長と共に、子どもは少しずつ親から離れていきます。一緒にいられる今だからこそ子どもとのふれあいを大切にしたいと思います。

活動紹介

寒さ、なんのその

「寒稽古、元気いっぱい」身が縮まるような寒い夜が続く一月二十八日(月)〜二月三日(日)の七日間恒例の寒稽古が実施されました。

柔道は柔剣道場、剣道は小須戸中学校体育館に分かれ、地元小中学生を中心に約百五十名が集まり、全員が気合の



メーン!

剣道

小学校二年

加藤克仁(蔵町三) ぼくは、かんげいこを毎日がんばりました。

かんげいこは、さむくてれんしゅうもきびしいけど、一しゅうけんめいれんしゅうして、強くなりたいです。

おめでとうございませ

小学生コンピ、バドミントンで全国大会初入賞!!

一月四日から広島市で開催されたバドミントン「第十回全国小学生選手権大会」男子ダブルス四年生以下の部で、バドミントンスポーツ少年団の砂井・米田ペアが見事三位になるという偉業を達成しました。

今後の活躍に期待が寄せられます。

「関係者の受賞コメント」

高野 豊監督

これからの四年生ですの、技術向上を計りながら体のケアの事も考え頑張りたいと思います。



砂井良介さん

個人戦初めての全国大会で、三位という成績を納められて嬉しいですね。



米田健司さん

ぼくたちは、ベスト8が、目標だったので、三位になれてすごくよかったです。

英語スピーチコンテスト

最優秀受賞

去る十二月十六日(日)、白根学習館において、白根国際交流協会主催の「インターナショナルコンテスト2001」が行われ、白根市と小須戸町の中学、高校生二十三人が、英語で意見発表しました。

その中で、小須戸中学校の皆川由香さん(三年)が、最優秀賞を受賞されました。

【受賞のコメント】 これを機に、英語にもっと関心を持ち、語学力をつけていきたいと思っています。



皆川さん

なお、同じく小須戸中学校の森田彩里さん(三年)も優秀賞を受賞されました。

いかつたなあく クラシック(詩)

師走に入つて、しばらく鉛色の空が続いていた。人々が小走りに過ぎて行くような、そんな季節。「椅子は、五十くらいかな?」小さなコンサートだから...控えめなコンサートの準備、照明も舞台も控えめに...

ところが加藤姉妹のさわやかな挨拶が始まる頃にはホールは人で埋まっていた。ピアノとヴァイオリンが語りかけ、二人の才能がきらめく外は鉛色だが、生の音色を浴びた心に青空が広がるようクラシック音楽、心で聴くのかな...?

この町に、こんなにクラシッ

おらが地区の行事紹介

鎌倉地区の注連縄づくり

鎌倉地区のお宮は諏訪神社と八坂神社が神明宮に合社されております。

今年も恒例により一月三日に奉納する注連縄を氏子三十六名の皆さんが集まり、無事作る事が出来ました。奉納後、今年も豊作を願いつつ集落センターで新年会を開きました。注連縄作りの行事は、いつ頃かは分かりませんが、大正の始めの頃か明治時代になると思われま



家内安全の願いを込めて

とつきたての餅、トン汁、みかん、

クラファンがいたなんて...
こんな時代だから
何かで心を癒したい
加藤さん、ありがと
公民館のピアノも
「大コンサート」に大満足
音楽を体いつばいに浴びた
夕べのひとつとき...



聴衆、うっとり (加藤姉妹)

松ヶ丘地区 塞の神

休みなく続けられた注連縄作りは、長く大切に受け継がれて行くことと思ひます。
小柳元助 (鎌倉)

参加者が少なくいつも同じ顔ぶれの新年会に替り、皆で楽しめるものという事で、「町内安全祈願祭」として塞の神が始められ、今年で七回目になりました。
天候にも恵まれ二百名の参加があり、矢代田神社の神主さんに諸々のお祝いをしていたいて点火され、勢い良く燃え上がる炎に身をよじらせながらスルメを焼く様子は圧巻でした。
塞の神が終わるとつきたての餅、トン汁、みかん、

酒、ビール等が振る舞われ、そのまま会館で夜更けまで酌み交わす人もいて盛会でした。

篠田悦子 (松ヶ丘)



楽しい小正月行事



おはなしのせかいへ (絵本の読み聞かせ)

テレビとは、一味ちがった楽しさを味わってみませんか。
日時 二月二十三日(土)
午後二時~二時三十分
会場 中央公民館(二階和室)
対象者 幼児から大人まで
読み手 読み聞かせボランティア
問合せ先 中央公民館

早春の植物観察会

春一番の植物「雪割草」、「カタクリ」などを観察してみませんか。
日時 三月二十四日(日)
午前八時半~午後三時半
※午前八時半に小須戸町役場前、集合・出発
場所 国上山(分水町)
対象 白根市・小須戸町の住民または親子
定員 四十五名(先着順)
持ち物 昼食、筆記用具など
参加費 一人五百円(保険料)
※暖かい服装で、参加下さい。
※雨天や悪天候の場合は中止
申込み、問合せ先
三月八日(金)~三月十五日(金)

理科教育センターまで
025-372-2924



誰でも参加できる 特別講演会

昨年のおもしろ博士講座で大好評だった栗村先生を再びお迎えします。
楽しいお話を交えて、読み聞かせ等の大切さを伝えます。
今回もどうぞ御期待下さい。
日時 三月十日(日)
午前十時~十一時半
会場 中央公民館(二階和室)
演題 子どもたちに「おはなし」の楽しさを
講師 栗村節子氏(東京都出身)
白根市立図書館長



講師の栗村節子先生

参加者募集

春の「エコパーティー」に参加しませんか!!

この度、ごみ減量推進の一環として、できるだけゴミを出さず、しかも体にやさしいエコクッキングを計画いたしました。
興味のある方は、気軽に参加して下さい。
あわせてEM菌による生ゴミ処理の講習も行います。
日時 三月十日(日)

午前十時~午後三時まで
会場 白根市生涯学習センター
募集人数 申し込み順で十名
参加費 無料
主催 いちごクラブ
(白根・小須戸ゴミ減量を推進する会)
申し込み、問合せ
役場保健福祉課保健衛生係
38-3111(内線131)

公民館よりお知らせ
次回(三月号)の公民館報では、新年度からスタートする各種教室・講座の参加者募集の記事を掲載いたします。

会員を募集します

生け花クラブ

お花の好きな人、いらして下さい。
日時 毎月第四水曜日
午後一時半~三時半
会場 中央公民館
会費 月、六百元(花代は実費)
講師 夏川チエ先生
連絡先 堀内智佐子宅まで
38-381-3888

ぶらり電話相談

教育相談をはじめ、いろいろな電話相談に応じます。
◆三月の相談日
一日(金)・八日(金)・十五日(金)・二十二日(金)・二十九日(金)
◆受付時間
午後一時~五時
◆電話番号
三八一三三〇〇
◎お名前、言わなくてもいいです。
◎秘密は、固く守ります。

文芸欄

年の瀬の人の暮しに裏おもて 丸山虚秋
天凍てて射手座のひとつ縮みたる 坂井隆思
去りし日の思ひ出柚子の湯に流す 田中美根子
新年の富士夕焼けてるる影絵 中野太浪
数へ日を津軽じよんがら締めくくる 佐久間久子
バス待てばもの煮る匂日脚伸ぶ 安達キヨノ
福引きをくじ運つよき子に託す 藤井 春
紅葉降る窟の奥の観世音 波辺信子
数え日や温泉行きをたまわりし 須藤恵美子
花びらを摘んで占う二度の恋 保科志枝
恥をかきつもりでマイク握る歌 藤井春江
柳 初春につかんだ夢が逃げて行き 保科一路
川(折り句:は・つ・に) 初笑 いろいろ入れば取り苦笑い 長井武雄

やる気は力

新しい年、そして三学期が始まりました。始業式では、三人の生徒代表が力強い決意を述べてくれました。
「ボランティアをがんばりたい。」「中学校生活を充実させたい。」「やる気にあふれた決意でした。」
ところで、昨年十一月に校内合唱コンクールが行われました。この行事は運動会と並んで生徒がやる気を全面に出して行う行事です。そのため、一人ひとり日を追うことに顔つきも変わり、コンクールが終わると学級も生徒も一皮むけたようになります。
自分たちが本気を出してやった時、すばらしい力が出てくることを実感できる機会です。



美しい旋律 (校内合唱コンクール)

小須戸中学校